

## 1 台東区の特性、魅力を活かす

協働の基本は、地域に住む人々が、お互いに思いやりを持って助け合い、誰にとっても暮らしやすいまちにしようとする心に根差しています。

台東区は、江戸時代からの歴史と伝統のもとに、豊かな人情やぬくもり、支え合いを基調とする下町的生活文化を育んできました。三社祭や鳥越祭など、地域のお祭りは、今日でも下町たいとうの心意気と団結のシンボルとなっています。

上野の山の芸術。浅草の芸能。四季折々の伝統行事。アメ横や仲見世など活気のある商店街。伝統工芸や多様な地場産業。そして、日々の暮らしに根差した下町的生活文化。このような多彩な本区の特性が、まちの魅力を創りだし、区民が地域への誇りと愛着を持つ源になっています。

台東区の協働は、下町的生活文化を基本に据え、本区の多彩な地域の魅力を十分に活用しながら推進していくことが極めて重要です。

## 2 台東区の協働を支える3つの仕組み

台東区らしい協働の実現に向けて、協働による安定した取組みを進めていくためには、基盤となる「協働を支える3つの仕組み」が重要です。

### (1) 協働推進制度の整備

協働に取り組むためには、協働に関する制度と体制を整備することが最も重要です。また、協働事業を客観的に評価する組織の整備や、柔軟な財源の基盤の整備が必要となります。

### (2) 台東区の特性、魅力を広げる

台東区らしい協働を進めていくには、まず本区ならではの多彩な特性や魅力などの資源を把握し、活用することが大切です。本区の魅力を生きた情報として整理し、協働の過程で結びつけ活用すること、そして広く発信できる環境を整えることで、さらに大きな効果が期待できます。

### (3) 中間支援組織の設立（確立） —協働のコーディネーター—

協働を推進するためには、協働相手や事業などに関する相談や協働のコーディネーター等を担う中間支援組織<sup>※5</sup>を設立（確立）することが重要です。

中間支援組織は、専門性が高く自立的な組織であると同時に、身近な存在として認められることが大切です。また中立的な立場で、コーディネーターや人材育成、啓発を行い、様々な情報の集約・発信とともに活動の場を提供し、事業や活動の進行管理や、企画・提案を行う等の機能が必要となります。

## 3 台東区が目指す協働

台東区は、本区の多彩な特性や地域の魅力を活かしながら、お互いに思いやりを持って助け合い、皆が力を合わせた協働によるまちづくりを進めていきます。

台東区の協働は、下町の心意気と団結を象徴する“お神輿”のように、世代や立場を超えた多様な人々が担ぎ手となり、一つのお神輿をバランスよく担ぎ進むように、共に知恵と力を出し合い、伝統を尊重しながら新たなまちの創造にチャレンジする協働を目指します。



<sup>5</sup> 中間支援組織：区民が行う公益的な活動について総合的に支援するとともに、行政や活動団体、事業者など様々な担い手のパイプ役として中立的な立場から連携を図り、協働を推進する役割を担う組織のこと。17 ページ参照。

# 伝統を尊重しながら新たなまちの創造にチャレンジする協働

台東区特性、魅力を活かす

大人も子どもも  
みんなで一緒に  
(多様な主体が)

初めての人もベテランも  
(相互の立場や特性を認め合い)

次の担ぎ手に  
繋げるために  
(社会的目的の実現に向けて)

神輿を担ぐのも  
バランス良く  
(共通する課題の解決)

力を合わせて前進!  
(協力して取り組むこと)

人情が紡ぐご縁

<歴史・伝統>  
お祭りなど

<産業・観光>  
伝統工芸、イベントなど

<文化・芸術>  
美術館、博物館、芸能など

<人・組織・団体>  
区民、町会、NPOなど

おもてなし

<下町の生活文化>  
江戸時代からの歴史と伝統、優れた技術や進取の気性、下町気質など

ほっとけない

協働推進制度の整備

台東区特性、魅力を広げる

中間支援組織の設立

台東区の協働を支える3つの仕組み